

# 小学校 3年 道徳

感じる  
想像する

話す・聞く  
書く  
読む

育成したい  
国語力

書かれている内容について共感的に読み取り、話し合う。  
目的に応じ、理由を明らかにしながら、自ら考えたことや想像したことを書く。

### 主題名

## 「友だち」 内容項目 2 - (3)

### 資料名

## 「ないた赤おに」

出典：3年生のどうとく 文溪堂

### 本時のねらい

友達を理解し、信頼し、互いに助け合おうとする心情を育てる。

### 国語力育成の視点

道徳の時間には、資料を読むこと、資料を読んで資料の世界を想像したり、感じたことを話し合うこと、話し合いを通して自分の生活を振り返り書くことなど、豊かな心を育てるために言葉が大きな役割を果たしています。

### 導入

キーワードを示し、赤おにの気持ちになって考える。

- ・村からはなれた山おくに、
- ・赤おにが、
- ・一人ぼっちで
- ・すんでいました。

### 展開

「ないた赤おに」の話を聞いて話し合う。

立て札を立てた赤おには、どんな気持ちだったのでしょうか。

青おにをたたいているときの赤おにはどんな気持ちだったのでしょうか。

青おにの張り紙を読んで、涙を流す赤おには、どんな気持ちだったのでしょうか。

赤おにの生き方をあなたは、どう思いますか。友達とのかかわりを振り返りながら、考えてみましょう。

### 終末

教師の説話を聞く。

### 視点 ①

主人公に思いを寄せながら学習がすすめられるよう、赤おにの気持ちに焦点をあてて感じる力を育成します。

資料「ないた赤おに」は3年生にとっては少し長文です。情景を想像したり、登場人物の気持ちを感じ取ったりできるように、紙芝居などを活用します。

### 視点 ②

中心発問では、友を失った赤おにから青おにへの手紙を書くことで追体験し、価値に迫ります。

赤おにになって話したり、聞いたり、書いたりする中で、十分共感し、友達のよさを感じ取らせたい。

### 視点 ③

後段では、赤おにの生き方を客観的に見つめ、今までの自分を振り返り、くらべながら書くことで深い考えが育ってきます。

《青おにの張り紙を読み、返事を書く》  
 青おにくん、どこへいったんだい。  
 人間がぼくのところへ、きてくれたんだよ。  
 楽しかったよ。  
 そのことを話そうと思って、青おにくんのところにきたんだよ。ありがとう。  
 きみがいなくなっていて、びっくりしたよ。  
 いっしょに、きょうはあそぼうと思ってやってきたのに……。

赤おにさんへ

青おにさんへ

赤おにや青おにの顔を思い浮かべて絵をかきましょう。

赤おにの生き方をあなたはどう思いますか？  
友達とのかかわりを振り返りながら考えてみましょう。